

総合整備計画書

山形県 金山町 中田辺地
(辺地人口 165 人 面積 11.8 km²)

1 辺地の概要

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 山形県最上郡金山町大字中田字下中田、同字芦ヶ沢口
同字上中田、同字六郎沢口、同字地坂台、同字榎木沢口
同字榎木沢山、同字外の沢、同字外の沢山、同字主寝坂口、
同字主寝坂、同字杉沢山、同字杉沢口、同字下杉沢、同字明通
同字杉沢、同字上杉沢、同字杉沢入
- (2) 辺地の中心位置 山形県最上郡金山町大字中田字杉沢口 388
- (3) 辺地度数 179 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当辺地は、本町の最北端に位置し、18の字からなっている山間地で豪雪地帯の一つである。

地区内道路は、幹線として国道13号線が区域の西側を縦貫しているほかは、地区内の沢を住宅地に沿って走る町道がある。

上記のような地理的条件の下、これまで辺地対策として国道へのアクセス道路を中心にした道路整備を行い、交通利便性は向上してきているところである。

このような中、住民生活に重要な役割を果たしている地域内の町道の道路側溝の排水処理機能が低下していることから、維持管理性の向上や長寿命化のため側溝整備を行う。さらに、地区内の消防団が使用している小型消防ポンプ積載自動車が老朽化しているため、計画的に更新することで安全で安心した生活を実現する。

3 公共的施設の整備計画

令和8年度から令和12年度まで 5年間

(単位：千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
			特定財源	一般財源	
道路施設	金山町	5,000		5,000	5,000
消防施設	金山町	6,000		6,000	6,000
合計		11,000		11,000	11,000